

「自然の恵み 海の幸」恵海だより 第6号

海洋学院ブログ：<http://marine-ac.seesaa.net/>

平成 18年 10月 20日発行

〒039-0841

発行：青森県立海洋学院

八戸市大字鮫町字下盲久保 25-131 電話 0178-33-0049 FAX 0178-33-2695

《鮫中学生のグッジョブ・漁業実習体験 豪快な定置網漁業》

10月3～5日にかけて、鮫中学校2年生4名がグッジョブ・ウィーク（職場体験学習）の一環として、海洋学院で朝礼の腕立て70回から、旬の定置網実習を行いました。中学生は、学院生の手際よく実習をこなす姿に、逞しさを感じていました。

また、学院生も中学生に実習指導する難しさを学んでいました。



大漁のサケ



雄と雌は？



ロープワーク（熊谷先生）

《実習船「みどり」 小型船舶検査立会い実習》

10月4日 小型船舶検査機構による小型船舶の中間検査に学院生も立ち会いました。法定備品、検査項目などを聞いていました。遊漁船業を営んでいる、または将来営む際に参考になる実習になりました。



《まれに見る大時化 嵐の後のゴミ片づけ》

10月7～8日にかけて、台風崩れの低気圧が異常に発達し、関東から東北沿岸を北上したため、大雨と洪水の被害が各地で見られました。特に、7～8日の夕方の満潮時には、波の高さが10mを超えるものとなり、地元でも近年ない高波だったそうです。海洋学院がある恵比寿浜～蕪島周辺では、大雨による川からの流木、稲わらなどの大量のゴミが打ち上げられました。学院の南方にあるサケ定置網は、漁獲ができなくなるような甚大な被害も出ています。

休日明けの10日に、学院生一同は学院入り口付近と海際にある西宮神社の大量のゴミ片付けに汗を流しました。神のご加護でこれからの各種資格試験の全員合格を目指そう！！



学院裏の大量のゴミ



海手の西宮神社掃除



すっきりしました

《定置網実習の終了》

8月22日から行っていた定置網実習が終了しました。10月5日に低気圧による時化を避けるため、身網と垣網をあげました。もし入れたままだったら、網ごと流失したことでしょう。今シーズンは、延べ14回の定置網の漁獲をし、約1,000尾のサケを漁獲しました。

学院生は、網起こし、水揚げ、サケなどの捌き方を繰り返し実習しました。さらには、網修理等も実習しました。定置網実習は、網漁法の習得と学院生のチームワークを鍛える成果をもたらしています。



《蓬田村漁業研究会 来院》

9月25日、漁業担い手育成機関の視察研修のため、蓬田村漁業研究会（会長：福井明彦）11名が来院されました。陸奥湾のホタテ養殖を支える中堅漁業者として活躍されている漁業者の旺盛な向学心がありました。



《今後の予定等》

◎第2級海上特殊無線技士講習

10月25～27日、沿岸漁船に必要な無線資格の講習が行われます。全員合格だ～！！

◎秋季休暇

11月1～5日、漁業後継者としての海洋学院修了後の進路の相談と冬物着替え入れ替えのための休暇です。特に、中・大型船の乗組員を目指す学院生は、目的意識を明確にする必要があります。

◎中学生の体験実習受入れ

11月8～10日、八戸市立白銀南中学校の2年生4名が体験実習に来ます。鮫中学校生と同様に朝礼、実習と一緒に汗を流します。

◎水産加工実習

11月13～17日、青森県ふるさと食品研究センターにて水産加工実習が行われます。定置網実習で漁獲したサケも含めて、缶詰等の加工実習を行うこととなります。

《旬の風景 サバの街 はちのへ》

鮫魚市場にサバの水揚げをするまき網漁船団。

今年は、1kgに達する超大型のサバもあったようです。夕方になるといっせいに出航する船団が沖合へサバを求めていきます。

